

2019年6月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	33,971,028	33,875,202	100.3%
国内旅行	3,845,575	4,271,385	90.0%
外国人旅行	3,658,696	4,291,043	85.3%
合 計	41,475,300	42,437,630	97.7%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ6社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、ミキ・ツーリスト）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。

1. 海外旅行

海外旅行は、方面別では、引き続き添乗員付きツアーが好調のイタリアが前年同月比 122%となったほか、人気アニメとのタイアップツアーがスタートしたシンガポールが同 122%と増加いたしました。チャネル別では、オンラインが引き続き好調に推移しており、中でもエアー＋ホテルやインプレッツなどの企画旅行が同 147%となりました。全体の商品別においても、エアー＋ホテルが同 210%、添乗員付きツアーが同 124%と好調に推移いたしました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比 100.3%の 339 億 7,102 万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	101.4%
オセアニア・南太平洋	90.9%
ハワイ・ミクロネシア	97.9%
欧州・中近東・アフリカ	106.7%
北米・中南米	97.4%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	93.8%
企画旅行	107.6%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	94.8%
オンライン	120.7%

2. 国内旅行

国内旅行では、九州が前年同月比 106%と順調に推移しており、中でもキャンペーン展開を強化したハウステンボスを含む長崎が同 146%と増加したほか、沖縄においては、各種施策効果もあり離島を中心にプラスで推移いたしましたが、全体では、梅雨明けの遅れや天候不順などもありマイナスとなりました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 90.0%の 38 億 4,557 万円となりました。

3. 外国人旅行

外国人旅行では、ヨーロッパ・アメリカからの受客は前年同月比 129%と増加しているものの、東南アジアからの受客が大幅に減少したため、外国人旅行の総取扱高は、同 85.3%の 36 億 5,869 万円となりました。

以上の結果、2019 年 6 月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 97.7%の 414 億 7,530 万円となりました。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：03-6388-0707

広報室：03-5908-2346